

平成21年12月期 第3四半期決算短信

平成21年10月30日

上場会社名 株式会社電算システム

上場取引所 東 名

コード番号 3630 URL <http://www.densan-s.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 宮地 正直

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 町田 孝道

TEL 03-3206-1860

四半期報告書提出予定日 平成21年11月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年12月期第3四半期の連結業績(平成21年1月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第3四半期	12,000	—	337	—	346	—	183	—
20年12月期第3四半期	12,056	—	685	—	672	—	361	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年12月期第3四半期	40.10	—
20年12月期第3四半期	97.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年12月期第3四半期	16,661	5,032	30.2	1,107.70
20年12月期	17,277	5,027	29.1	1,088.22

(参考) 自己資本 21年12月期第3四半期 5,032百万円 20年12月期 5,027百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期	—	—	—	27.00	27.00
21年12月期	—	—	—	—	—
21年12月期 (予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年12月期の連結業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,881	0.1	541	△46.8	553	△45.4	295	△47.6	64.42

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年12月期第3四半期 4,620,000株 20年12月期 4,620,000株

② 期末自己株式数 21年12月期第3四半期 77,080株 20年12月期 70株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年12月期第3四半期 4,587,006株 20年12月期第3四半期 3,720,000株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表等規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・通期の連結業績予想に関する事項につきましては、第3四半期の実績及び今後の見通しを勘案し、平成21年1月30日公表の予想数値を修正いたしました。なお、当該予想数値の修正に関する事項は、「4ページ【定性的情報・財務諸等】3. 連結業績予想に関する定性的情報」及び本日平成21年10月30日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、輸出・生産において持ち直しの兆しが見られるものの、依然として企業収益の悪化・設備投資の減少や雇用情勢の悪化・個人消費の低迷が継続するなど厳しい状況にあります。情報サービス産業におきましても同様の傾向が続いており、このような市場環境の下、当社グループは、効率的な事業運営や営業力強化を図りつつ、新規顧客の開拓を進めるとともに、経費の抑制・削減を徹底してまいりました。

しかしながら、企業のシステム需要の低迷は想定以上に厳しい状況であり、取引先の予算削減に伴い、受注競争は激しく、技術者の人数削減及び単価の引下げ要求も続いており、案件獲得や粗利確保が回復するまでには、しばらく時間を要するものと思われまます。一方において、将来の収益源を確保するため、人員の有効活用を模索するとともに、M&Aの推進、新規事業の企画、立案のための投資を積極的に実践しております。具体的には、医療システム事業における株式会社ソフトテックスの子会社化、大垣における高度な免震技術を備えたデータセンターの事業供用開始、コンビニ向け新規ビジネスの強化、資金決済法改正への対応、SAPの自社導入などであります。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は120億円となり、利益面においては、営業利益が3億37百万円、経常利益は3億46百万円、四半期純利益は1億83百万円となりました。

事業内容では、情報サービス事業においては、大手得意先のシステム関連予算の見直しやコストダウン要請など、全般的に開発案件の先延ばしや凍結、受注案件の小規模化、システム運用費用・保守費用の削減という傾向が見られ、売上高は70億18百万円、営業利益（配賦不能費用控除前）は3億73百万円となりました。

収納代行サービス事業においては、他社との競合により収益の確保に厳しさが増すなか、大口ユーザの契約獲得等によって取扱件数の増加が図られ、また、営業要員の増員やキャンペーン、プロモーション活動などにより、売上高は49億81百万円、営業利益（配賦不能費用控除前）は4億46百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して6億16百万円減少し、166億61百万円となりました。これは主に、金銭の信託が6億25百万円増加したものの、現金及び預金が12億79百万円減少したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して6億20百万円減少し、116億29百万円となりました。これは主に、買掛金の減少2億71百万円、未払法人税等の減少2億27百万円及び収納代行預り金の減少1億22百万円などによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して4百万円増加し、50億32百万円となりました。これは、自己株式の取得により49百万円減少し、その他有価証券評価差額金が5百万円減少したものの、利益剰余金が59百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して5億32百万円減少し、15億97百万円となりました。

また、当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における営業活動の結果、増加した資金は3億53百万円となりました。これは主に、法人税等の支払4億40百万円、仕入債務の減少2億71百万円、その他の流動負債の減少1億93百万円などにより資金が減少したものの、売上債権の減少7億25百万円、税金等調整前四半期純利益3億25百万円、減価償却費1億55百万円などにより資金が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における投資活動の結果、減少した資金は6億76百万円となりました。これは、投資有価証券の取得3億89百万円、無形固定資産の取得2億14百万円、有形固定資産の取得85百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における財務活動の結果、減少した資金は2億9百万円となりました。これは、配当金の支払1億24百万円、自己株式の取得49百万円、短期借入金の返済30百万円などによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成21年1月30日付当社「平成20年12月期決算短信」にて発表いたしました、平成21年12月期の通期連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日別途開示する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。なお、上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計処理基準に関する事項の変更)

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、総平均法による原価法（仕掛品については、個別法による原価法）によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分）が適用されたことに伴い、総平均法による原価法（仕掛品については、個別法による原価法）（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,231,189	5,511,133
金銭の信託	7,307,672	6,682,589
受取手形及び売掛金	2,153,458	2,879,372
有価証券	99,317	99,433
商品	24,246	17,901
仕掛品	360,262	177,818
前払費用	50,366	59,695
繰延税金資産	96,714	31,852
その他	4,118	3,211
貸倒引当金	△2,077	△2,802
流動資産合計	14,325,269	15,460,204
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	550,818	563,840
土地	358,642	358,642
その他(純額)	124,988	106,765
有形固定資産合計	1,034,449	1,029,248
無形固定資産		
ソフトウェア	220,584	262,912
その他	234,582	60,650
無形固定資産合計	455,166	323,563
投資その他の資産		
投資有価証券	469,737	189,767
繰延税金資産	59,163	45,135
差入保証金	309,873	221,923
その他	11,572	19,413
貸倒引当金	△3,797	△11,599
投資その他の資産合計	846,550	464,640
固定資産合計	2,336,166	1,817,452
資産合計	16,661,435	17,277,657

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	974,516	1,246,014
短期借入金	—	30,000
1年内返済予定の長期借入金	4,540	6,660
未払法人税等	26,361	254,109
収納代行預り金	9,941,293	10,063,638
賞与引当金	211,088	—
役員賞与引当金	9,856	—
受注損失引当金	5,765	11,608
その他	225,731	401,783
流動負債合計	11,399,152	12,013,814
固定負債		
長期借入金	—	3,430
役員退職慰労引当金	169,720	168,400
負ののれん	2,294	5,067
その他	58,060	59,460
固定負債合計	230,074	236,357
負債合計	11,629,227	12,250,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	998,013	998,013
資本剰余金	697,869	697,869
利益剰余金	3,389,313	3,330,101
自己株式	△49,043	△40
株主資本合計	5,036,151	5,025,943
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,943	1,542
評価・換算差額等合計	△3,943	1,542
純資産合計	5,032,208	5,027,485
負債純資産合計	16,661,435	17,277,657

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)
売上高	12,000,052
売上原価	9,869,005
売上総利益	2,131,046
販売費及び一般管理費	1,793,246
営業利益	337,800
営業外収益	
受取利息	6,672
負ののれん償却額	2,772
その他	4,616
営業外収益合計	14,061
営業外費用	
支払利息	709
支払手数料	3,238
持分法による投資損失	1,878
その他	8
営業外費用合計	5,836
経常利益	346,026
特別利益	
貸倒引当金戻入額	7,806
特別利益合計	7,806
特別損失	
固定資産除却損	27,917
特別損失合計	27,917
税金等調整前四半期純利益	325,914
法人税、住民税及び事業税	217,186
法人税等調整額	△75,221
法人税等合計	141,964
四半期純利益	183,949

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	4,077,873
売上原価	3,369,524
売上総利益	708,349
販売費及び一般管理費	586,380
営業利益	121,968
営業外収益	
受取利息	3,697
負ののれん償却額	924
その他	354
営業外収益合計	4,976
営業外費用	
支払利息	418
支払手数料	1,539
持分法による投資損失	904
その他	0
営業外費用合計	2,862
経常利益	124,082
特別損失	
固定資産除却損	413
特別損失合計	413
税金等調整前四半期純利益	123,668
法人税、住民税及び事業税	△17,931
法人税等調整額	72,834
法人税等合計	54,903
四半期純利益	68,765

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成21年1月1日
 至 平成21年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	325,914
減価償却費	155,251
のれん償却額	4,699
負ののれん償却額	△2,772
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△8,527
賞与引当金の増減額 (△は減少)	211,088
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,856
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△5,843
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,320
受取利息及び受取配当金	△7,016
支払利息	709
持分法による投資損益 (△は益)	1,878
固定資産除却損	27,917
売上債権の増減額 (△は増加)	725,914
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△188,789
仕入債務の増減額 (△は減少)	△271,498
未払金の増減額 (△は減少)	△7,410
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△193,955
その他	11,010
小計	789,748
利息及び配当金の受取額	4,937
利息の支払額	△708
法人税等の支払額	△440,840
営業活動によるキャッシュ・フロー	353,138
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の償還による収入	100,000
有形固定資産の取得による支出	△85,047
無形固定資産の取得による支出	△214,272
投資有価証券の取得による支出	△389,296
その他	△87,746
投資活動によるキャッシュ・フロー	△676,362
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30,000
長期借入金の返済による支出	△5,550
自己株式の取得による支出	△49,003
配当金の支払額	△124,738
財務活動によるキャッシュ・フロー	△209,291
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△532,515
現金及び現金同等物の期首残高	2,130,085
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,597,569

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)

	情報サービス 事業(千円)	収納代行サ ービス事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上 高	7,018,468	4,981,584	12,000,052	—	12,000,052
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	13,812	—	13,812	(13,812)	—
計	7,032,280	4,981,584	12,013,864	(13,812)	12,000,052
営業利益	373,879	446,922	820,801	(483,001)	337,800

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な内容

- (1) 情報サービス事業……情報処理サービス、システムソリューション、システムインテグレーション
(2) 収納代行サービス事業……収納代行サービス

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所属する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 連結累計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年9月30日)
	金額(千円)
I 売上高	12,056,987
II 売上原価	9,744,276
売上総利益	2,312,710
III 販売費及び一般管理費	1,626,961
営業利益	685,749
IV 営業外収益	11,949
V 営業外費用	24,784
経常利益	672,914
VI 特別利益	4,958
VII 特別損失	24,085
税金等調整前四半期純利益	653,786
税金費用	292,705
四半期純利益	361,081

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 連結累計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年9月30日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	653,786
減価償却費	126,079
のれん償却額	4,699
負ののれん償却額	△5,827
持分法による投資損益(△は利益)	2,211
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10,640
賞与引当金の増減額(△は減少)	270,365
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△23,240
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△9,626
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△10,548
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,120
受取利息及び受取配当金	△3,461
支払利息	2,506
株式交付費	735
上場関連費用	19,016
固定資産除却損	1,200
投資有価証券売却損益(△は売却益)	3,515
投資有価証券評価損益(△は評価益)	19,370
売上債権の増減額(△は増加)	884,410
たな卸資産の増減額(△は増加)	△63,221
仕入債務の増減額(△は減少)	△449,866
未払金の増減額(△は減少)	△96,204
その他	△285,141
小計	1,039,239
利息及び配当金の受取額	3,461
利息の支払額	△2,665
法人税等の支払額	△416,805
営業活動によるキャッシュ・フロー	623,230
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△29,182
無形固定資産の取得による支出	△65,782
投資有価証券の売却による収入	3,830
その他(純額)	8,308
投資活動によるキャッシュ・フロー	△82,826
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△15,000
長期借入金の返済による支出	△5,550
配当金の支払額	△70,680
財務活動によるキャッシュ・フロー	△91,230
IV 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	449,174
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,060,039
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,509,214